

令和元年度 すこやかメールマガジン 第 666 号【ボランティア】10月24日配信

このたびの台風 19 号により、岩手県内では、沿岸部を中心に土砂災害や河川の氾濫で、農業・水産業・土木関係に大きな被害を受けました。

被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

令和元年 10 月 13 日（日）に釜石市鶴住居復興スタジアムで開催予定だったラグビーワールドカップ 2019 のカナダ VS ナミビア戦も、台風の影響でやむなく中止となりました。今回のワールドカップは、震災からの復興とこれまでの支援に対する感謝を届けようと準備して来られたわけですが、それが叶わなかった関係者と市民の悔しさは、いかばかりかと推察いたします。

しかしその日、カナダチームの選手やコーチたち 17 人が、釜石市内で土砂の撤去や清掃などのボランティア活動を行ったと報道されました。私は、アンドリュー・コー選手が「釜石の思いやりに触れ、素晴らしい時間を過ごすことができました。日本で貴重な経験をすることができたことを感謝したい」と話していた映像を見て、胸が熱くなりました。

さらに、報道で、沿岸被災地で中学生が土砂の撤去や家の片付け、清掃等のボランティア活動を開始していることが伝えられています。（新聞・ネット等の情報を含む）

14 日（月）久慈市立久慈中学校吹奏楽部の生徒 9 人が泥かきボランティア

16 日（水）久慈市立久慈中学校 2 年生約 130 人が長内地区で泥撤去ボランティア

16 日（水）山田町立山田中学校 3 年生 88 人が田の浜地区で土砂の撤去と家の掃除

17 日（木）山田町立豊間根中学校全校生徒、約 50 人が田の浜地区でボランティア

18 日（金）久慈市立久慈中学校 3 年生ボランティア

20 日（日）宮古市立宮古第一中学校有志 23 人が、山口地区で被災家屋の泥だし、片付け

20 日（日）野田村下安家、南浜、中新山地区で野田中学校、久慈工高、弘前大生らが活動



地域の住民からは「何倍もの力になります。100倍かな。おかげさまで助かりました」

「せっかくのお勉強を休んできたのでしょうから、ありがたいなあと思っています」との声が聞かれました。

また別の用務で会った久慈市の職員は、「今回の台風は被害が広く、ボランティアが他からなかなか入って来ない。久慈中学校の生徒の赤いジャージが市内で活動しているのを見ると、励まされる」と話してくれました。

中学生の郷土愛と行動力が、地域の大人に再起するエネルギーを与えるに違いありません。
たくましい中学生の行動力に、惜しめない拍手を贈りたいと思います。【Ｙ】

○メルマガで取り上げて欲しい内容や感想など、下記アドレスにお寄せいただければ嬉しく思います。（アドレス登録又は配信停止もこちらからどうぞ(^_^)

mailto:kosodatem@pref.iwate.jp

○メルマガのバックナンバーを当センターHPで閲覧することができます。

アドレスはこちら

「まなびネットいわて」（<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>）>「発行物・刊行物」

>すこやかメルマガ

これからも、どうぞよろしくお願いします(^_^)/

【発行】

岩手県立生涯学習推進センター

025-0301 花巻市北湯口2-82-13

TEL 0198-27-4555

URL:<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/> 「まなびネットいわて」で検索